



あうんの呼吸

あうんの呼吸とは、気持ちが一致していること、心の通じた関係という意味から、お客様とスタッフで心をつなげて、ご満足いただける住みよい家作りをしていくという気持ちを込めました。

<今月のトピック>

- ☆リフォーム施行例
- ☆4コマ漫画
- ☆自分でできる家のメンテナンス

VOL. 14 平成 25 年 9 月号

あうん工房

902-0066
沖縄県那覇市大道90-4
通話料無料の
フリーダイヤル

ナフ/ ヨイ/ コウジ
0120-72-4152

リフォーム施行例

BEFORE



AFTER



キッチンの取替・ユニットバスの設置・洗面化粧台の設置・床の張替工事をさせて頂きました。

お客様の声

Q4. 何が決めてとなってリフォームを決断しましたか？

最初の打合せでお会いして見て信頼できそうな人だと思ったので・・・。

Q5. 実際にリフォームをしていかがでしたか？

ちょっとした工事もサービスでやっていただいて感謝しています。

出入りする職人さん達も良い方たちばかりでした。

お客さまの声より

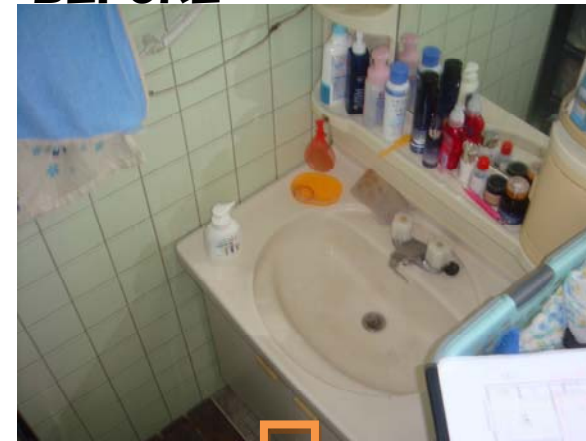
BEFORE



AFTER



BEFORE



AFTER



OH!マイガー!!!

ある日のこと、学校行事で誰かの靴を間違えて履いて帰って来てしまい・・・



校門は、無情にも閉まっていた・・・(泣)



優しいママで良かった・・・

自分でできる家のメンテナンス



日頃のメンテナンスは、住まいを美しく保ち、耐久性の維持につながります。不具合は早めに見えれば、費用も抑えられます。そこで今回は、簡単に自分でできる家の点検とメンテナンスについてご説明いたします。

<室内>

・床

フローリングの床は基本的に水は厳禁です。水がこぼれた時は、そのまましておかずに、できるだけ早めに拭きとる。濡れた雑巾を放置しておくのも水が木にしみ込む可能性があるため、避けた方がよいでしょう。普段の手入れは、掃除機をかけてカラ拭きで十分。

水拭きをする場合は、雑巾を固く絞って使います。1~2ヶ月に一度の割合で、ホームセンターなどに市販されている床用ワックスを塗っておくとよいでしょう。

・壁

普段はハタキをかける程度の掃除でよいのですが、クロスが部分的に汚れてしまったときは、固く絞った雑巾で水拭き。それでも落ちない時は、住居用の洗剤を雑巾につけて擦って下さい。拭き取った部分だけでなく、周囲も拭いて目立たない様にほかしておくとよいでしょう。また、クロスがはがれてきたときは、小さいはがれなら、市販の壁クロス用の接着剤で簡単につきます。はがれた部分にホコリやゴミなどがついていないか、確認してから作業しましょう。接着剤は、木工用のふたの先が細くなったもので代用してもかまいません。

・ドア

室内ドアを開け閉めするたびにイヤな音がする場合は、潤滑油を蝶番の軸部分にスプレーしておきます。また、ドアのちょっとしたガタつきは、蝶番のネジがゆるんでいるケースがほとんどですから、ドライバーで蝶番を止めているネジをチェックして、ゆるんでいるものがあたら開め直しておきましょう。

<水まわり>

・水栓金具

最近の住宅では、キッチンや洗面化粧台にシングルレバーの混合栓がついているのが一般的です。このシングルレバーの混合栓で、水漏れが起こった場合は、自分で直そうとせず、メーカーか水道屋さんに頼みましょう。混合栓の中の部品（カートリッジ）を交換すれば直るケースがほとんどなので、修理事態はさほど時間はかからないと思いますが、水栓のメーカーによって、部品（カートリッジ）の形や、部品を取り出す方法が異なります。修理を依頼するときは、自分の家の水栓金具がどのメーカーのものか、どんな形のものかを事前に伝えておく作業がスムーズに行われると思います。

・排水管

排水管は万が一、詰まるとやっかいなものなので、ゴミや油、髪の毛などをできるだけ流さない様に普段から心がけましょう。また、定期的にパイプ洗浄剤を使って、排水管を詰まりのないきれいな状態に保つようにします。市販されているパイプ洗浄剤には、油かすやヘドロなどに効果のあるタイプと毛髪を溶かす強力なタイプがあります。キッチンなど毛髪を流すことのほとんどない場所と、浴室などで、タイプの違う洗浄剤を使い分けるのがおすすめです。



<外まわり>

・雨樋

雨樋は、破損していたり、ゆがんでいないか、年に1~2度くらいは点検しましょう。ただし、高いところは危険なので、1階やバルコニー部分など安全な部分だけにすること。雨が降った時に雨樋が壊れていないのにあふれたり、流れが悪い場所がある時は、枯れ葉などが詰まっているケースが考えられます。水平の樋と垂直の樋をつないでいる集水部分にゴミや木の葉がたまることが多いようです。台風や激しい雨の後は点検し、落ち葉やゴミなど取り除いておくようにしてください。

・外壁や屋根

外まわりも雨樋と同様に点検しておきます。その際も安全には注意してください。屋根に登ることは危険ですので、窓やバルコニーなどから見える範囲で十分です。外壁に大きなひび割れや屋根材のずれなどがあたら、一度専門家に補修が必要かどうか、依頼するとよいでしょう。部分的な補修や塗装なら、ホームセンターなどでコーキング材や塗料を買って、DIYにチャレンジしてみるという方法もあります。その際は、ひび割れの長さや深さを測ったうえで、お店に行き、店内にいるDIYアドバイザーなどに相談しながら、商品を選びましょう。外壁の色も後で「色が全然違っていた」なんてことのないように、写真や色見本を持参すると失敗がありません。また、基礎の換気口の周囲には、ものを置かないように。床下の換気は、建物の寿命にも関係が深いので、空気がよどまないようにするためには、障害物は取り除いて置くことが大切です。



☆ミニ知識☆塗料にもいろいろある

外壁を再塗装するときの塗料には、いろいろな種類があります。例えば、外壁に生えるカビや藻など微生物の発生を防ぐ性質のあるもの、大気中の排気ガスや粉塵による汚れが付着しにくいものなどを性能として表示しているもの、水性であるため溶剤中毒などの心配が少ないものも出ています。また、屋根の塗料には、塗ることで遮熱効果を発揮するものも登場しています。屋根専用の遮熱塗料で、太陽光線の中の放射熱エネルギーの強い近赤外線領域を反射し、夏の熱暑を防ぎ、冷暖房の効率もアップさせます。ただ、外壁塗料も屋根塗料も塗装に適する素材などがありますので、専門業者とよく相談してから採用を決めましょう。

☆日頃のお手入れが愛着を深める

日頃のメンテナンスを心がけておくと、いくつかのメリットがあります。一つ目は、手入れを怠らないことで、いつまでも住まいを美しく保つことができます。二つ目は、早めに手を入れることで耐久性を維持することにつながります。例えば、不具合が見つかったら、早めに見つけることで、補修も小さな範囲で済ませることができるでしょう。当然、補修・修繕にかかる費用も抑えられるはず。さらに必要なメンテナンスも状態を正確に把握できていれば、計画的に行えるので、効率よくすませる事で、費用を調整することもできます。例えば、一番わかりやすいのが、足場を必要とする外まわりの補修。屋根や外壁に手をいれる時は、一度に行くと、足場にかかる費用も一度で済むので効率的です。そして、何より、このように手を入れながら住まいを大切にすることで、住まいへの愛着が深まります。家というのは、自分にとって家族にとっても、生活をしていくために基礎となる場所です。そこで、築年数を経ることによって、たくさんの思い出が生まれます。その思い出とともに、住まいが存在し、それが愛着へとつながることになると思います。そんな愛着たっぷりの住まいで、いつまでも快適に暮らしたいものですね♪

